

## 80年代の想像力

- ①、政治主義＝集団主義から個人主義へ  
 明るい個人主義 ネアカ＝都市型消費者  
 暗い個人主義 ネクラ＝オタク文化創造
- ②、記号化＝物語化＝マーケティング化  
 アイドル・アニメ  
 オタクVS新人類  
 消費社会・DCブランド・マニュアル社会  
 プロレス  
 洋楽ブーム  
 ニューアカデミック(相対主義的現代思想)

## 参考資料

80年代を概観する

## 中森明夫の「おたく」研究

考えてみれば、マンガファンとかコミケに限らずいるよね、アニメ映画の公開前日に並んで待つ奴、ブルードレンを御自慢のカメラに収めようと線路で寝き投されそうになる奴、本棚にビシーツとSFマガジンのバックナンバーと福川の金巻銀巻のSFシリーズが並んでる奴とか、マイコンショップでたむろつてる牛乳ビン鹿メガネの理系少年、アイドルタレントのサイン会に朝早(から)行って場所を確保してる奴、有名進学塾に通って勉強取っちゃったら単にイワシ目の患者になっちゃらオドオドした態度のボケらやん。

オーディオにかけちゃよつとうる  
 さいお兄さんとかね。それでこう  
 いった人運を、まあ普通、マニア  
 だとか熱狂的ファンだとか、セー  
 ゼーネクラ族だとかなんと呼ん  
 でもわけだけど、どうもしっくりこない。  
 なにかこいつた人々を、あるいはこ  
 ういった現象総体を統合する適確な  
 呼び名がいまだ確立してないのでは  
 ないかなんて思うのだけれど、それで  
まあちょいわけあって我々は彼らを  
『おたく』と命名し、以後そう呼び伝  
えることにしたのだ。



## さて、まず映画のまとめ

1984年



うる星やつら2  
 ビューティフルドリーマー

- ① 終わりなき日常(無限ループ)
- ② 欲望の肥大化・充足化
- ③ 選択肢は二つ

## 宮台真司の映画解釈



素晴らしき未来 = 絶対的価値観

ゴールのための今現在



終わりになき日常 = 相対主義

「まったり」とした毎日

極端な性別選択

- 女 ブルセラ・援交
- 現状の積極的順応
- 男 夢想的社会変革
- あえて超越的価値

## 相対主義が生む二つの想像力

「まったり」した世界を肯定する **腐女子型**

\* 自己が肯定し、自己を肯定してくれるもの  
 のみの世界を目指す

**包摂と排除の論理＝母性肥大型**

絶対神をあえて立てて、妄想的・夢想的な社会改革を目指す、**男性オタク型**

\* あえて絶対的ななにかを立て、人生に指針を見つ  
 け、他の者たちへ承認をもとめる

**拡大と侵略の論理＝父性肥大型**

## 母性肥大型の「うる星やつら」世界

- ① あたるへの愛情は無制限に承認
- ② 正月やクリスマスをどんだけ迎えても歳をとらない無限ループ(閉じ込められた楽園)
- ③ 人間関係や愛情などの物語は進行しない



押井守は、この世界観そのものを主題に

(注) ラムの人柱選択の根拠...(物語に注意)  
「めぞん一刻」「らんま2/1」「犬夜叉」

## 新人類の言い分

全てが等価だっというのはあるよね。康夫ちゃんもいっているけど。すべてを均質化してのっぺりした平面を.....っていうんじゃないのね。そうじゃなくて差異の歴然とした(!)項を暴力的に並列するという極めてダイナミックな運動なんだよね

『週間本28 卒業』田口賢治

## 吉本隆明

「重層的な決定」とは何を意味するのでしょうか? 平たく言えば「現在」の多層的に重なった文化と観念の様態にたいして、どこかに重心を置くことを否定して、層ごとにおなじ重量で、非決定的に対応するということです。私はそれをしばしば『資本論』と『窓ぎわのトットちゃん』とを同じ水準でおなじ文体と言語で論ずべきだという云い方で述べてきました。

『重層的な非決定へ』

## 相対主義の徹底

絶対主義を支える絶対的価値の崩壊

- ① 歴史学 それぞれの歴史があつてよい  
ニューヒストリズム(新歴史主義)
- ② 文化人類学 文化に上下は無い  
構造主義・オリエンタリズム・カルスタ
- ③ 女性学 性はすべての人によって異なる  
フェミニズムからセクシャリティへ

## 上野千鶴子meets糸井重里

西武デパートの今年の宣伝戦略は「おいしい生活」というものだ。コピーライター糸井重里氏の見解によれば「おいしいことに理由はない、好きなものは好きだ」というメッセージだと言う(中略)

差別化の上下を問わないヨコナラビの基準がこれほどみごとに表現されたものはない。「良いか悪いか」ではなく「好きか嫌いか」の基準は、まず第一に、選択基準の説明の放棄である。理由がないから、説明するのも不可能なのだ。

「商品—差別化の悪夢」『現代思想』82. 9

## 手塚の「まんが記号説」

僕の画っていうのは、驚くと目が丸くなるし、怒ると必ずヒゲオヤジみたいに目のところにシワが寄るし、顔が飛び出すし、そう、パターンがあるのね。つまり、ひとつの記号なんだろうと思う。で、このパターンとこのパターンを組み合わせると、ひとつのまとまった画らしいモノが出来る。ただ、それは純粋な絵画じゃなくて非常に省略きつた記号なのだろうと思う。(中略)つまり、僕にとってのまんがというのは表現手段の符牒にすぎなくて、実際には僕は絵を描いているんじゃないかと、ある特殊な文字で話を書いているんじゃないかという気がする。

『ぱふ』79.10

## 中島梓の手塚のエロ？論

手塚治虫が、女がヘタだ、というのは、実は否定しない。ただし、それは、彼がエロチックになろうとするとたいてい失敗する、という点についてである。

(中略)

しかし、手塚治虫が、たとえば宇宙人ウサギのボッコ、ライオン、レオ夫人のライヤ(中略)といった異性物のヒロインを描くとき、どうもふしぎな色気が一人間の女には感じられない色っぽさが出てきてしまう

「ヘルマプロデイトスの夢」『奇想天外』78. 12

## 中森の誤解

それは彼女たちの描くすぐれて現実感覚の伴った感性キラキラ少女達の世界が、彼らが現実の少女達に抱く果てしないコンプレックスを想起させちゃうからだろう。二次元空間に描かれた少女なら、決して自分を傷つけることも侮辱することもない。

(中略)

ホント街ではキラキラピカピカした発光した女のコ達が、それこそパソコンゲームの電子音さながらに、キュンキュン音をたてながら元気しちゃうるんだけど、そーゆーのってとでもわくわくすることだと思わないかい？

## 田中康夫の逆説的批判

なんとなくクリスタル(1980)

発表当時一橋大学法学部4年生であった田中のデビュー作である。売り上げは100万部を超え、田中の著書の中でも最大発行部数となっている

東京に暮らす女子大生兼ファッションモデルの主人公・由利の生活を中心に、1980年当時の流行や風俗を独自の視点と文体で描いた。東京で生まれ育った比較的裕福な若者しか理解できないブランドやレストラン、学校や地名などの商標を回りがりばあられており、それぞれに世の視点を通して「**丁寧な言葉の分析が入っていた。小説の書き手としての分析が鋭い**」と、得意の観察力は人口調査委員の生半か同様に描く特別優良企業等と関係が深まる。1985年次報告書(昭和55年度版厚生白書)から抜粋の、少子高齢化を承継するデータも記されている。



真実はブランド小説と評され、本物にもなんでも女子大生は「**綺麗(クリスタル)な女にはなれない**」と、その独特の文体から当時のいかなる文壇風俗の中心には受け入れられなかった。江藤淳が激賞し、その後のハルマキアにおけるブランドブームを先取りした小説として評されることが多い一方で、田中以後の著書において「世の定評を女子大生がブランド物をたくさん下げて歩いている小説」みずみずしい心が描けていないとの評価が下されることが多かったとたびたび記している。また新文芸批評家として注目して「生半か」を取り上げられ、小説の天才と最後に記された出生率のデータを結び付けて論じた評論家は皆無だったと述べている。

## 宮崎勤

宮崎 勤(1962年8月21日 - 2008年6月17日)



東京・埼玉連続幼女誘拐殺人事件(広域指定第117号事件)の容疑者として逮捕、起訴され、死刑判決が確定し、執行された人物。



## 岡田有希子

- 1967年うまれ
- 1983年にオーディション番組『**スター誕生!**』の第46回決戦大会チャンピオンとなり、芸能界入りした。
- 1984年4月21日に『ファースト・デイト』でアイドル歌手としてデビュー。同年、**日本レコード大賞**最優秀新人賞を受賞。
- 1985年の年間**プロマイド**売り上げ女性アイドル1位出。
- 1986年1月、**カネボウ**の**キャンベーン**・ソング『**くちびるNet work**』がオリコン初登場1位となる。同年4月8日、自宅マンションで手首をリガス自殺未遂。治療の直後、所属事務所である**サンミュージック**が入居しているビルの屋上から飛び降り、全身を強く打って即死した。



その後、後にコッコン・シンドロームと呼ばれる事になる、類例のない規模の後追い自殺が起こり、**衆議院**文教委員会で取り上げられる大きな社会問題になった。これにより、5月に発売予定だった『**花のイメージ**』は1999年発売の『メモリアルボックス』に収録されるまで封印され続けた。

•死後は、没後ファン<sup>①</sup>と呼ばれる新しいファン層が生まれるなどして、その人気は衰えていない。